

第 33 回大分 NST 研究会 報告

2022 年 1 月 22 日、大分市ホルトホールにおいて、第 33 回大分 NST 研究会”を開催致しました。当初は新型コロナウイルス感染症も鎮静化に向かっており、対面での開催を検討しておりました。しかしながら、年明けからの新変異株の感染拡大により、Web での開催となりました。重ねて当日未明には市内を震度 5 強の地震が襲い、隣接する商業施設は休業となるような状況でした。配信会場のホルトホールは通常通り開館され、研究会ならびに世話人会も滞りなく執り行うことができました。また今回は 219 名の方々に参加して頂きました。ありがとうございました。

今回は「周術期における栄養管理」というメインテーマのもと、職種や施設をこえた一般演題 10 題を中津市立中津市民病院の外科部長 梅田健二先生、管理栄養士長 末長朋子先生の座長で進行していただきました。当初は対面形式の開催を予定していたため、とても大きな会議室を準備しておりました。今回、感染の再拡大のため、急遽この大きな会議室を配信会場とし、大部分の発表者の方々には実際に会場に来ていただき、十分な距離を取った状態で発表を行っていただきました。Web 開催となったことで、発表者同士、座長だけで、討論が行われてしまうのではないかと心配しておりました。しかしながら、最近 Web 開催が増えてきたせいか、Web 参加者から座長あてへの質問メッセージが以前よりも増えたような印象でした。特別講演は、北里大学医学部上部消化管外科学主任教授 比企直樹先生に「がん治療における栄養の役割」という演題でご講演いただきました。内容豊富でかつわかりやすく、あっという間に時間が過ぎてしまいました。講演の中の「1 週間寝たきりになると 10 年分、年を取る (= 10 年分の筋肉が失われる)」というのはわかりやすく、かつ衝撃的なフレーズなので、今後私も機会があれば実際に使ってみたいと思いました。

冒頭にも触れましたが、今回は直前になり急遽開催形式が変更となり、参加者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。また当日未明に地震に見舞われ、発表者の方々にもご心配をおかけしてしまいました。そのような状況の中、無事に研究会を執り行うことができましたのも、大分 NST 研究会世話人の先生方ならびに発表者の方々、株式会社大塚製薬工場、イーエヌ大塚製薬株式会社の方々のご協力の賜物と感謝する次第であります。本当にありがとうございました。

第 33 回大分 NST 研究会 当番世話人 田島 正晃